平成２８年第１１回大仙市教育委員会定例会議事録

平成２８年第１１回大仙市教育委員会定例会を平成２８年１１月２５日（金）午後３時から大曲図書館において開催した。

出席者

教育長　吉　川　正　一
委　員　風　登　森　一
　　伊　藤　　良
　　竹　原　まゆみ
　　工　藤　浩　一

説明員

教育指導部長	伊　藤　雅　己
生涯学習部長	山　谷　喜　元
教育総務課長	判　田　　基
教育指導課長	佐　藤　英　樹
教育研究所長	佐　藤　厚　子
生涯学習課長	山　崎　文　幸
文化財保護課長	細　川　良　隆
スポーツ振興課長	伊　藤　優　俊
学校給食総合センター所長	杉　山　光　行
総合図書館長	高　見　正　信
総合市民会館主査	古　谷　彰　宏
花館公民館長	寺　村　彰　浩
神岡中央公民館長	黒　川　　博
西仙北中央公民館長	小山田　幸　哉
中仙公民館長	草　薙　栄　良
協和公民館長	佐々木　　稔
南外公民館長	今　野　徳　吉
仙北公民館長	加　藤　　実
太田公民館長	煤　賀　康　典

書記

教育総務課参事　田　口　広　龍

付議案件

議案第34号　大仙市八乙女交流センターの指定管理者の指定案に関する臨時代理について

議案第35号　大仙市営八乙女球場及び大仙市八乙女運動公園テニスコートの指定管理者の指定案に関する臨時代理について

議案第36号　平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について

議案第37号　平成２８年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について

議案第38号　平成２８年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について

吉川教育長

委員の皆様、お忙しい中、御出席いただきまして誠にありがとうございます。

本日は、鈴木委員から欠席の届出がございました。しかし、定足数は満たしておりますので、会議は成立いたします。書記に田口参事を指名いたします。

ただいまから、平成２８年第１１回大仙市教育委員会定例会を開催いたします。

前回定例会の議事録は、ただいま、委員の皆様からの署名をもって、承認していただきました。

それでは、教育長報告に入らせていただきます。資料の１ページをご覧ください。

まず、学校教育の教育活動関係でありますが、１１月は大きな研究大会が５つあります。１つは１１月２日に花館小学校・大曲中学校を会場に開かれた全県道徳教育研究大会で、全県から約１５０名の出席を得て開催されました。残りの四つの研究会は全て国の教育課程研究指定であり、４本もの国指定の研究会は同一市町村としては全国初のことのようで、本市の教員の研修意欲の高さが現れていると思います。どの公開も調査官から高い評価をいただいております。この成果を多くの学校に広げていきたいと思います。

１１月１６日と１７日には、こころのプロジェクト「夢の教室」の音楽バージョンとして、羽川真介氏のチェロ演奏とトークが４小学校で開かれ、子供たちの感性がまた一つ深まったと思います。

なお、魁星旗争奪第８回秋田県中学校秋季野球大会で大曲中学校が準優勝を手にしております。

研修等関係では、１１月６日に大仙市ＰＴＡ連合会研修会「講演会」が中仙農村環境改善センターで行われました。講演は「息継ぎできる家庭づくり」という演題で、スクールカウンセラーで横手市の適応指導教室教育相談員である佐藤さゆ里先生が、子供の回復力は、親の「ありがとう」という言葉、視線で励ます、特にハグして励ますなど、親としての実践的な子供との関わり方について話されました。

また、９日には、潟上市で秋田県都市教育長会議が開かれ、支援員等の教育環境の充実とコミュニティスクール等による地方創生について、各市から状況が説明されました。中でも、会場となった潟上市では、各学年にタブレット型パソコン３０台を設置していることや市の予算の２０％が教育予算として組まれていることに大変驚きました。毎年シーリングがかかる予算折衝ですが、少しでも教育環境充実のために努力したいと思います。

県外視察関係では、１１月９日に山形県最上地区教育委員会、これは最上地区内の新庄市など８市町村の教育長が西仙北小学校と西仙北中学校を視察しております。このような広域の合同研修視察は珍しく、授業ばかりでなく、地域活性化への子供たちの取組についても評価をいただきました。

次に社会教育関係でありますが、１１月５日に花館のサケまつりが玉川橋そばの特設会場で開かれ、サケのつかみどりやいくら丼・サケ汁などの試食と楽しく美味しいひとときでした。

また、１１月１０日からは東北学生将棋大会、１３日は東北将棋大会・大仙市長杯争奪戦が開催され、学生の大会では東北大学が団体優勝し、市長杯の名人戦では青森県の中学３年生の佐々木白馬さんが優勝しております。

なお、市長代理で出席しました全国囲碁サミット2016 in 熊野では、囲碁人口拡大の点

から囲碁に親しむ子供たちをいかに増やすかについて、各サミットの都市から取組状況が紹介されました。本市では囲碁合宿や放課後囲碁教室などを行っていますが、指導者の確保など課題も多い状況です。

次に文化財関係でありますが、１1月５日、６日には、恒例となってきました旧池田氏庭園払田分家庭園のライトアップが行われ、天候もさほど荒れず、紅葉の庭園に響くジャズの音色が観客を魅了しておりました。

社会体育関係のスポーツ少年団についてですが、大曲バドスピリッツスポーツ少年団で大川西根小６年の鈴木琉花さん、大曲小５年の高橋里菜さん、同じく４年の山内こころさん、にしせんジュニアシャトルズスポーツ少年団で西仙北小４年の佐々木一真君の４人が１２月２３日から２７日にかけて滋賀県大津市で開催されます「全国小学生バドミントン選手権大会」に出場することになりました。また、花館サッカースポーツ少年団が、県大会で３位となり、東北大会に出場することになっております。子供たちの熱い戦いを期待したいと思います。

最後に、安全・安心面ですが、特に大きな事故等はありませんでした。

以上で、私からの報告を終わります。

それでは、次に各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきます。まず、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

教育総務課は、５項目を掲載しております。その中からですが、１１月２１日に仙北市角館で大仙仙北美郷教育委員会連絡会が開かれました。有意義な情報交換ができたと思っております。参加いただきました委員の皆様には、お忙しい中、ありがとうございました。その他、定例的な会議となっております。以上です。

吉川教育長

次に、教育指導課長、お願いします。

教育指導課長

教育指導課では、１２項目記載しております。１番の教育長訪問は、昨日の大曲南中の訪問をもちまして、全て終了いたしました。ほとんどの項目が、先の教育長報告内容と重なりますので、１２番の秋田県学習状況調査についてのみ説明させていただきます。

全国学力・学習状況調査に加え、県では例年独自の調査として「秋田県学習状況調査」を実施しており、小学校は１１月３０日、中学校は１２月１日の予定であります。国の調査で見付かった課題に関する問題等の出題が予想されるところであります。以上でございます。

吉川教育長

次に、生涯学習課長、お願いします。

生涯学習課長

１１月の行事報告の前に、先月の定例会終了後の１０月２２日、２３日に開催されました秋の稔りフェアについて御報告させていただきます。教育委員会では、これまで秋の稔りフェアには参加しておりませんでしたが、今年から初めて文化部門としてステージを担当させていただきました。初めての場所での開催ということで、いろいろ不安もありましたが、天候に恵まれまして３万２，４００人の人出がありました。前年比１，２００人増ということで、ステージ周辺は一時、身動きがとれないぐらい人出がありました。教育委員会各課の応援をいただき、無事終了できましたことをステージ責任者といたしまして、御報告とお礼を申し上げたいと思います。

引き続きまして、１１月の行事報告をさせていただきます。生涯学習課では、１０項目記載しております。そのうち、大仙市民俳句大会についてであります。太田中学校、南外中学校、西仙北中学校、協和中学校の生徒から１２５句が寄せられ、一般の１４４句と合わせて２６９の投句をいただいております。多くの中学生が興味をもってくれたことに大変感謝しております。以上であります。

吉川教育長

次に、文化財保護課長、お願いします。

文化財保護課長

文化財保護課では、１４項目挙げさせていただいております。記載のとおりであります。

吉川教育長

次に、スポーツ振興課長、お願いします。

スポーツ振興課長

スポーツ振興課も５項目、掲載のとおりであります。以上です。

吉川教育長

次に、学校給食総合センター所長、お願いします。

学校給食総合センター所長

学校給食総合センターは、４項目掲載しております。和食の日について御報告いたします。お手元のパンフレットを御覧ください。１１月２４日を「和食文化を知る日」として、昨年から大仙市の五つの学校給食センターで実施しております。今回が２回目となります。献立の内容は、地場産食材を使用し、だしの良さを味わえる給食を提供しております。以上です。

吉川教育長

次に、総合図書館長、お願いします。

総合図書館長

総合図書館は、８項目掲載しております。その中で「来ぶらりフェス」について御報告いたします。いつもとはひと味違う図書館へぶらっと来てくださいという意味で、１１月２日と３日の２日間、「来ぶらりフェス」を開催いたしました。昨年度から開催しているものです。読み聞かせ、カバー掛け講座、郷土資料公開講座に加えまして「おいしいコーヒーの煎れ方講座」を実施しております。いつもより来館者が多く、大変盛況であったと思っております。以上でございます。

吉川教育長
次に、総合市民会館長、お願いします。

総合市民会館主査
総合市民会館は、５項目記載しております。「髙橋紀博フラメンコギターコンサート」は、南外地域や大曲高校の同級生の方々の強力なバックアップもあって、チケットの販売が好調でした。当日は、県内外から多くの方々が訪れ、こうしたコンサートには珍しく、７割弱の入場者で館内は熱気に包まれました。髙橋紀博さんのお人柄のようなゆったりしたトークと情熱的なギター演奏が対照的で、大いに盛り上がりました。奥様や共演者のダンスもこの辺では見ることのできないもので圧倒されました。公演は４０分近く押してしまいましたが、どなたからも大仙市出身にこのような方がおられてうれしい、こんな素晴らしいものがこの料金で見られて良かったなどの満足の声が聞かれました。
明日あさってに行われます「ＮＨＫのど自慢」は、本日から準備に入っております。出演及び観覧希望者が多いため、明日の予選会で、あらかじめ、はがきで選ばれた２５０組から本選に出場する２０組が選ばれることになっています。観覧希望者も１０倍を超える競争率の中から４００名程が選ばれています。明日、あさっては、教育委員会職員の方々からも御協力をお願いしております。休日ということで、大変御難儀をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。以上です。

吉川教育長
はい、ありがとうございました。１２月３日の「山形由美＆中鉢聡おしゃべりコンサート」も、まだ、チケットがあるようですので、皆様よろしければこちらの方もよろしくお願いします。次に、花館公民館長、お願いいたします。

花館公民館長
花館公民館は、９項目記載しております。その中から花館公民館主催事業「サケの郷土料理教室」について御報告いたします。これは、玉川橋下流に仕掛けているウライで捕れたサケを料理する講座ですが、海から川を遡ってくるため脂が抜けてしまい、どのようにおいしく料理し食べるかという昔から花館地区に伝わる料理方法を学ぶ教室です。雄物川鮭増殖漁業生産組合の方を講師にお招きし、一匹の鮭を自分でさばいて料理するまでを学びました。毎年好評で、募集人員２０名に対して２、３日で定員いっぱいになりました。鮭についての事業は、今後も続けていきたいと思っております。以上です。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。次に、神岡中央公民館長、お願いします。

神岡中央公民館長
　神岡中央公民館は、６項目記載しております。この中から「第９回秋田飴売り節全国大会」について、御報告させていただきます。この大会は、地元の実行委員会の主催ということで、地元住民が手作りで運営している大会です。昨日の新聞にも出ていましたが、大会には８４名が出場しまして、そのうち一般の部には７４名が出場しました。審査の結果、由利本荘市の須田政博さんという方が優勝されています。出場者数、観覧者数も過去最高で、非常に盛会裏に終えることができました。来年は１０回大会ということで記念大会になりますので、反省を踏まえながらもっと素晴らしい大会にしたいと思っております。以上です

吉川教育長
　市民の手作りだったようで、大盛況だったようであります。次に、西仙北中央公民館長、お願いします。

西仙北中央公民館長
　西仙北中央公民館は、１０項目記載しております。先ほど、教育長からもお話がありましたが、将棋大会につきまして、御報告いたします。東北学生将棋大会が１１月１０日から１３日まで開かれました。東北各地区から９大学、学生５４名が出場いたしまして、２日間、予選を行いました。団体戦では東北大学が４０連覇を達成しております。準優勝が東北学院大学、３位が山形大学となりました。１２日、１３日には個人戦が行われまして４８名の学生が参加しました。東北大学の２年生が優勝しております。
　次に、大仙市長杯争奪戦ですけれども、１１９名の方々が参加しております。名人戦では、青森県の名人佐々木白馬君が優勝しております。ちなみに、準優勝は秋田県の鈴木勝裕さん、３位には同じく沢谷達夫さんが入っております。以上です。

吉川教育長
　はい、ありがとうございました。次に、中仙公民館長、お願いします。

中仙公民館長
　中仙公民館は、１０項目挙げさせていただきました。その中で「著名人に生き方を学ぶ集会」について御報告いたします。これは、大仙教育メソッドに記載されている取組でございます。１１月２１日月曜日、ドンパルを会場にテレビでおなじみのゴルゴ松本さんから、中仙地域の小学校５、６年生と中学生、一般の方々を含む約４６０名の参加の下、講演をしていただきました。様々な漢字や言葉の成り立ちなどを解説しながら、命の大切さ、日本語の素晴らしさ、感謝の大切さなど、ただ、ステージの上でお話するのではなく、ゴルゴさんがステージを降りて児童生徒さんに直接マイクを向け、積極的な発言を引き出すなど、会場いっぱいに響き渡る大きな声で、ひと味もふた味も違う大変素晴らしい内容で

した。以上でございます。

吉川教育長
　次に、協和公民館長、お願いします。

協和公民館長
　協和公民館は、７項目記載しております。その中の「協和地域文化財防火訓練」について御報告いたします。県の指定文化財になっております唐松神社を会場に実施されました。当日は小雨の降る中でありましたけれども、地元の消防団はじめ、婦人会、協和小学校の４年生からも参加していただきまして、総勢１２０名程で無事訓練を終えております。以上です。

吉川教育長
　次に、南外公民館長、お願いします。

南外公民館長
　南外公民館は、６項目記載のとおりです。以上です。

吉川教育長
　次に、仙北公民館長、お願いします。

仙北公民館長
　仙北公民館は、６項目掲載しております。このうち「民俗芸能フェスティバル」について御報告いたします。仙北ふれあい文化センターの自主事業として行っておりますが、先月の「自衛隊コンサート」と合わせ、どちらも満員でありました。以上です。

吉川教育長
　次に、太田公民館長、お願いします。

太田公民館長
　太田公民館は、１３項目掲載しております。この中から「第５６回秋田県仙北地域公民館大会兼第３９回大仙仙北地区生涯学習推進研究大会」について、御報告いたします。これは、持ち回りで行われている大会ですけれども、今回は太田公民館が担当ということで１１月９日に太田文化プラザで開催しております。各地域の公民館職員の皆様にも御協力いただきまして、公民館関係者１６９名の参加の下、無事終えております。以上でございます。

吉川教育長
　以上、各課・所・館から事務事業・行事報告をしていただきました。ただいまの報告につきまして、委員の皆様から御質問等ございましたら、お願いいたします。

伊藤委員
　民謡の全国大会が市内にもいくつかあるようですが、県内や全国ではどのくらいあるのかといったデータがありましたら、お知らせ願います。

吉川教育長
　大仙市では三つの大会があります。県内は、どうですか。

神岡中央公民館長
　全国的な大会数はデータが無いのでちょっと分かりませんが、県内では１３の全国大会があるようです。民謡協会の協力無くしてはできないものですから、全県をスケジュール調整して行われています。４月の土崎の大会から始まって、飴売り節が最後の１３番目の大会のようです。

伊藤委員
　秋田県には１３の大会があるとのことですが、この数は他県と比べても多いものでしょうか。昔はこんなになかったように思います。最近、あちこちで新聞記事なども目にします。

風登委員
　確かに、最近、優勝旗を持った新聞記事をよく目にしますが、２０年、３０年前まではなかったように思います。

吉川教育長
　秋田県は民謡王国といわれていますが、東北各県にもかなりの民謡がありますね。ちょっと全国的なデータは無いようですので、後ほど調べてお伝えしたいと思います。
　ほかにございませんか。

工藤委員
　潟上市のタブレット端末のお話があったんですが、大仙市ではどのような状況でしょうか。

吉川教育長
　本市では、まだタブレット型パソコンの整備が進んでいるとは言い難い状況です。タブレット端末の整備を急いだ方がいいのかなと思っています。本市では、平成３１年度にはほぼ全部の学校にタブレット型パソコンを整備する予定ではありますが、もうちょっと早めたいと思っています。ただ、国からの補助もあるんですが、持ち出しもかなりの額になりますので、これからの折衝になります。

工藤委員

タブレットを使って授業でも活用されるということでしょうか。

教育指導部長
昨年度、南外小学校でしたか、パソコン更新に合わせてタブレットとしても使えるノート型パソコンを入れております。先生方もノート型パソコンを取り外してタブレット型として活用するように、研修の中で取り入れて少しずつ広がっていると思います。

吉川教育長
現在のパソコンは５年間のリースですので、それぞれの学校の更新の際、タブレット型に切り替えていきたいと思います。

風登委員
潟上市は市の予算に占める教育予算が２０パーセントということですが、本市はどのくらいで、全県的にはどのような状況になっているでしょうか。

吉川教育長
本市の割合は、約１０パーセントです。県内各市も大体同じで、潟上市が突出しています。

風登委員
分かりました。今後もこのぐらいの割合になるんでしょうね。次に、「夢の教室」音楽バージョンについてのお話がありましたが、ほかにどんなものがあるんでしょうか。

教育指導課長
スポーツバージョンということで、サッカー協会が進める取組に手を挙げています。また、オリンピック選手や世界を股にかけて活躍するようなスポーツ選手から将来についてお話をしていただきながら、一緒にゲームをしたりするスポーツバージョンがございます。それから、芸術・図工バージョンというのもあります。例えば、県内の有名な絵描きさんから同じようにお話をしていただいたりしております。全部で三つのバージョンがございます。

吉川教育長
今年のスポーツバージョンでは、太極拳とキックボクシングもございました。特にキックボクシングは普段はなかなか見れない実演といいますか、迫力ある練習する姿を見せていただきました。

風登委員
これは、例えば３か年で全部の学校が三つのバージョンを体験するといったようなことでしょうか

教育指導課長
　そうですね。重ならないような形で進めております。

風登委員
　分かりました。ありがとうございます。それから、１０月、１１月の時間的に余裕があるときに学校祭とか授業研究会とか参加してすごく感じたことは、大仙メソッドって結構機能してて、各校が前向きに捉えているんだなと思いましたし、更に良くなる予感がしました。本市の児童生徒は、改めて立派なんだなと感じました。特に太田北小学校の音楽劇の完成度がすごい高いのには驚きました。おそらく、今回１０回目ということでしたが、ステップ・バイ・ステップで成長していくんでしょうけれども、５、６年生の達成感や成就感というのは半端じゃないんだろうなと思いました。それからもう一点、太田東小学校と太田中学校の外国語活動のところで、特に中学校１年生がオールイングリッシュでやっていましたが、やっぱり外国語活動の成果なんだろうなと思いました。中学１年生が結構堂々と英語で話をするんです。びっくりしました。そういうところに力を入れて、本市は取り組んでいるなと感じました。本市の先生方は、子供にいい刺激を与えながら伸ばしているんだなということを強く感じた２か月間でした。

吉川教育長
　今、風登委員からお話がありましたように、英語については先生方は頑張ってくれています。ただ、都会とは違って、こちらではなかなか英語を話す機会がなくて、来年の国際花火シンポジウムに何らかの形で携わらせたいなと思っているところであります。学んだ英語を実際に役立てる機会があれば、また、ステップアップするんじゃないかと思って仕掛けを考えているところです。

風登委員
　この間、仙北地域で「ふるさとの明日を語る会」というのがありまして、そのときにもふるさと博士育成事業のことが話題になりました。すごくいい事業だと高く評価しておりました。

吉川教育長
　先日の大仙仙北美郷教育委員会連絡会でも、仙北市や美郷町もすぐやってみたいと言ってました。是非、やってくださいと言いました。
　竹原委員、ございませんか。

竹原委員
　先月の末のことなんですが、神岡小学校で「ニコニコサンデー」ということで、日曜日に地域の人たちと子供たちとで感謝祭をやるといった会があって参加したんですが、本当にたくさんの方々が関わってて、みんなが笑顔で地域の力というのを感じました。

吉川教育長

地域を巻き込んだ学校行事だと思いますが、神岡小に限らず、ほかの学校でも実施してくれています。各校、頑張ってくれています。

それでは、これで教育長報告を終わらせていただきます。

次に、付議案件に入ります。はじめに、議案第３４号「大仙市八乙女交流センターの指定管理者の指定案に関する臨時代理について」を議題といたします。生涯学習課長、報告をお願いいたします。

生涯学習課長

議案第３４号「大仙市八乙女交流センターの指定管理者の指定案に関する臨時代理について」、御報告いたします。資料の９ページから１１ページになります。また、指定管理者に応募された業者に関する資料をお手元に用意しましたので御参照ください。

本案は、この指定管理者の指定議案を議会に提案するに当たり、市長から教育委員会の意見を求められましたが、教育委員会を招集する時間的余裕がなかったことから、大仙市教育委員会教育長に対する事務の委任等に関する規則第３条第１項の規定により、教育長が臨時代理として同意したため、同条第２項の規定によりこれを報告し、承認を求めるものであります。

臨時代理として事務処理した内容ですが、平成２８年度で「大仙市八乙女交流センター」を含む大仙市八乙女関連施設の指定管理期間が満了となることから、新たな指定管理者を選定するものであります。現在は、むつみ造園土木株式会社が指定管理者となっております。公募した結果、この５年間大仙市八乙女関連施設の指定管理をしておりました「むつみ造園土木株式会社」と大仙市西仙北スポーツセンターや大仙市ふれあい体育館等を管理している「株式会社　オーエンス」の２社から応募があり、去る１０月１１日開催の指定管理者選定委員会において「むつみ造園土木株式会社」が候補者として選定されました。

なお、「むつみ造園土木株式会社」は、過去５年間の八乙女関連施設管理において造園技術を生かした清潔で気持ちよく施設使用できる環境整備は勿論、関連相互施設の連携を図りながら、健康やスポーツ等の興味深いイベントを開催して楽しい健康づくりの場として、地域住民やスポーツ愛好家との連携や信頼関係を構築しながら利用者増を図ってきた実績と、今後のサービス向上のための具体的な方策や施設の有効利用のための具体的な方策等を盛り込んだ事業計画及びその実現の可能性などが評価されて選定に至ったものと認識しております。

指定期間は、八乙女交流センターと隣接する老朽化してきた八乙女温泉さくら荘との関連等があり、平成２９年４月１日から平成３２年３月３１日までの３年間となります。

以上　御報告いたしましたが、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

吉川教育長

指定管理者に応募された業者に関する資料、資料ナンバー１と資料ナンバー２が配られていますが、これについて、もう少し説明をお願いします。

生涯学習課長

資料ナンバー１がむつみ造園土木株式会社の概要でございます。資料ナンバー２が株式会社オーエンスの概要でございます。指定管理者選定委員会におかれましては、資料ナンバー１のむつみ造園土木株式会社が指定管理者の候補者として選定されております。

吉川教育長
ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

風登委員
オーエンスという会社は、こちらに支店とかがある会社ですか。

生涯学習課長
秋田支店があります。

風登委員
審査得点集計表を見ますと、５項目とも全てむつみ造園土木株式会社が上回っているので、それはそれでいいんですけれども、各項目について配点が２０点で、７人で審査しているわけですが、大体７点から１２点前後の差ということは一人当たり１点ぐらいの差です。トータルすると、確かにむつみ造園土木株式会社が５項目について全て上回っているので異論は無いんですが、一人当たり１、２点差というのは有意な差なんでしょうか。

生涯学習課長
指定管理者選定委員会で出した結果でございますが、委員会では各団体がそれぞれ考えている管理内容についてプレゼンを行うわけですが、その発表内容とか過去の実績などを見比べて見ても、実績が評価されたのではないのかなと考えております。

風登委員
審査方法についてですが、トータルの点数を出すよりは７人の審査員がいるわけですので、席次で差をつけた方がよりはっきりするのではないかと思います。審査方法についてはいろいろな方法がありますので、今後、検討されてはいかがでしょうか。

生涯学習課長
生涯学習課といたしましては、市長部局の総務課が所管する指定管理者選定委員会に諮問する形となっておりまして、委員会の審査方法ややり方を決める立場にありませんが、風登委員の御提言を機会を見て総務課にお話したいと思います。

風登委員
分かりました。

吉川教育長
いずれ、この資料は選定となった根拠ということでございます。

ほかに、ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
皆様、よろしいでしょうか。それでは、本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
それでは、本案は、報告のとおり承認することとします。
次に、議案第３５号「大仙市営八乙女球場及び大仙市八乙女運動公園テニスコートの指定管理者の指定案に関する臨時代理について」を議題といたします。スポーツ振興課長、報告をお願いいたします。

スポーツ振興課長
それでは、資料は１２ページから１４ページまでになります。議案第３５号「大仙市営八乙女球場及び大仙市八乙女運動公園テニスコートの指定管理者の指定案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。
資料の１４ページを御覧願います。
平成２８年度で指定管理期間が満了となります「大仙市営八乙女球場」同じく「八乙女運動公園テニスコート」の指定管理期間更新に当たり、指定管理者を公募したところ、この５年間管理しておりました「むつみ造園土木株式会社」のほか、「株式会社　オーエンス」の２社から応募があり、去る１０月１１日開催の指定管理者選定委員会において、「むつみ造園土木株式会社」が選定されました。
なお、「むつみ造園土木」は、過去５年間の同施設管理における実績から、専門的技術を生かした環境整備の構築や、多様な自主事業、宿泊交流施設や周辺の豊かな自然と融合した健康増進メニューを充実させるなど、その専門性と地域貢献度が期待できることなどが評価されて選定に至ったものと認識しております。
指定期間は、平成２９年４月１日から平成３２年３月３１日までの３年間となります。
また、指定管理者に関する会社概要と申請理由、選定審査得点表につきましては、八乙女交流センターと一括選定でありますので、先ほどの生涯学習課の資料と同じものになります。
以上、御説明いたしましたが、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吉川教育長
ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。それでは、本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　それでは、本案は、報告のとおり承認することとします。
　次に、議案第３６号「平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。教育総務課長から順に報告をお願いいたします。

教育総務課長
　資料は、１５ページからになります。議案第３６号「平成２８年度大仙市一般会計補正予算（第６号）案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。臨時代理として事務処理した理由については、予算案ではありますが、前の議案と同様です。
　それでは、１７ページを御覧願います。債務負担行為の設定については、私から一括して御説明いたします。債務負担行為とは何かということでありますが、市町村の予算は単年度会計が原則ですが、複数年にわたる契約を締結する必要がある場合などに、それぞれの年度の支出額の限度額を設定し、その経費を義務化するものです。
　はじめに、生涯学習課所管になりますが、先ほど議案第３４号で御承認いただいた八乙女交流センターの指定管理料に係る債務負担行為の設定についてです。指定期間を平成２９年度から３１年度までの３年間とし、指定管理料の限度額を３，５５５万６，０００円に定めるものであります
　次に、二つ目のスポーツ振興課所管になりますが、議案第３５号で御承認いただいた八乙女球場と八乙女運動公園テニスコートの指定管理料に係る債務負担行為の設定についてであります。指定期間を平成２９年度から３１年度までの３年間とし、指定管理料の限度額を７８９万円に定めるものであります。
　次に、教育総務課所管の西仙北地域スクールバス運行業務委託料であります。期間は平成２９年度から平成３３年度までの５年間で、委託料の限度額を５億３，８４６万円に定めるものであります。平成２４年度の学校統合により遠距離通学となった西仙北地域の西仙北小学校と西仙北中学校の児童生徒を対象にしまして、平成２４年度からスクールバス運行を民間委託により行っております。平成２９年３月をもって５年間の業務委託の契約期間が満了することから、更新するための費用を確保するため債務負担行為の設定を行うものであります。
　債務負担行為の設定につきましては、スクールバスを来年度の当初から運行させるために手続期間や受託業者の準備期間の確保、車両の購入、運転手の確保など準備に要する時間が必要なため、今回の１２月議会に提案するものであります。また、期間の設定は、乗

合バスの減価償却資産の耐用年数が５年となっているため、その期間を設定するものであります。なお、契約につきましては、年度ごとに見直しを図り、児童生徒数や通学状況の変化に対応してまいります。本年度の乗車対象児童生徒数は、西仙北小学校が２００人、西仙北中学校が７９人で合計２７９人であります。バスの運行台数は、１１台です。運行の経費は１１台分消費税抜きで年間９，８８０万円、これはキロ制運賃の単価と時間制運賃の単価の合計で積算されています。また、積算の単価は、営業許可に係る公示単価の範囲内で設定したものであります。また、消費税については平成３１年９月までは８パーセント、平成３１年１０月以降は１０パーセントとして積算し、５年間の限度額を５億３，８４６万円と設定するものであります。

次に、資料の１８ページを御覧願います。今回の一般会計補正予算案の概要について、御説明申し上げます。１０款教育総務費に１，５１３万６，０００円を補正するものであります。１項の教育総務費には、４９７万５，０００円を補正します。内訳としましては教育文化基金積立金として７万９，０００円、学校給食事業特別会計操出金として４８９万６，０００円です。２項の小学校費には教育指導課所管の各種大会派遣事業費として１６６万６，０００円、同じく３項の中学校費に２２２万２，０００円を補正します。６項の保健体育費には６２７万３，０００円を補正します。内訳としましてはスポーツ振興課所管のスポーツ少年団大会派遣費補助金として４２７万３，０００円、スキー場事業特別会計操出金として２００万円となっております。

ここからは、各事業について課ごとに説明させていただきます。はじめに、教育総務課所管分になります。資料の１９ページを御覧ください。教育文化基金積立金についてであります。

去る１１月３日に大曲市民会館で行われた「結香ふるさとコンサート」において、大仙市出身の歌手である加藤結香さんから、教育のためにと来場者から募った募金７万８，９５０円の寄附をいただいたため、これを教育文化基金に積み立てるものです。

以上、教育総務課からの報告を終わります。

教育指導課長

続いて、教育指導課から御報告いたします。資料２０ページを御覧ください。

教育振興費補助金、各種大会派遣費補助金を合わせたものについて、御説明申し上げます。補正前の額９２０万３，０００円、補正額３８８万８，０００円、補正後額は１，３０９万１，０００円であります。財源は、全て一般財源であります。

１の事業の目的及び目標につきましては、学校教育活動の一環としての対外的な部活動の大会、コンクール等の予選を勝ち抜いて県大会、東北大会、全国大会に出場する学校に対して派遣費を補助し、安全な移動手段の確保や保護者負担の軽減を図ることであります。

２のこれまでの実績と成果につきましては、平成２５年度以降の補助実績を表で示しております。部活動の種類や大会によっては補助金が多額となる場合もありますが、教育活動の一環でもある部活動の奨励と保護者の負担軽減は図られているものと捉えております。

３の問題と課題につきましては、特に中学校において補助金の額が増加傾向にあります。また、最近ではスポーツ少年団や各種競技連盟が主催する上位の大会や連盟等の推薦を受

けて出場する上位の大会もあり、現在の「補助金交付要綱」では補助対象外となる場合もあり、課題であると捉えております

４の今後の方向性には、事業の概要を記載しております。補助対象となる大会等が「文部科学省、地方公共団体、教育研究会、学校体育団体が主催又は共催」となる場合は、選手、マネージャー、指導者の交通費・宿泊費に対し、県大会は補助率は３分の１以内、東北・全国大会は２分の１以内で補助しようとするものであります。その他の大会であっても、予選を経て出場する大会で教育長が特に認める場合は、３分の１以内で補助することができるものとしております。

今回の補正につきましては、今後の支出見込みに加え、全国大会出場が決定しております花館小学校及び大曲中学校のマーチングバンド部、大曲中学校駅伝部の活躍に伴う派遣費の支出等に補正をお願いしようとするものであります。

補正の内訳は、小学校費１６６万6，０００円、中学校費２２２万2，０００円であります。以上、よろしくお願いいたします。

スポーツ振興課長

それでは、スポーツ振興課所管分について御報告いたします。資料２１ページを御覧ください。

大仙市スポーツ少年団の大会派遣費補助金について、４２７万3，０００円の補正をお願いするものであります。財源は、全て一般財源となっております。

これは、大仙市に登録されている９０団を対象に、全県・東北・全国大会の出場にかかる交通費と宿泊費を補助することにより、スポーツ少年団活動の活性化と相互交流を図るとともに、各団体や保護者の経費負担を軽減することを目的としております。

実績と成果でありますが、参考として過去３年間の実績を表記しております。派遣の件数については、ほぼ横ばいとなっておりますが、規模の大きい大会などへの参加は、スポーツ技術の向上と成果が実感できる貴重な機会であり、子供たちを大きく成長に導くものと期待するところであります。

問題と課題ですが、少子化により団数や団員数も減少傾向にある一方、大会の数は増加しており、上位大会への参加が指導者や保護者の経費負担を大きくしております。指導者のほとんどが無償で携わっていただいている現状から、上位大会にかかる経費につきましては、より支援が必要と考えております。

事業概要と方向性につきましては、本年度は１０月末までに５３件、金額にして約２６７万8，０００円が申請されており、このあと１１月以降、３月末までに５２件、約４３３万1，０００円ほどが申請される予定であり、当初予算額を４２７万3，０００円ほど上回る見込みとなっております。

特に今年は、上位大会への出場が難しいとされる団体競技での全国大会出場が増えてきていることから、１派遣での人数が膨らんでいることに加え、勝ち進むことにより宿泊日数が増すため、全体的に派遣費の補助額が膨らんでいる状況となっております。子供たちが、全国レベルの大会に出場し、優秀な成績を収めている現状を踏まえ、そして、指導者や保護者の負担を軽減していくためにも、本事業を更に充実の上、継続してまいりたいと考えております。

以上、御説明いたしましたが、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吉川教育長
ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

風登委員
スポーツ振興課長にお聞きします。先ほど、スポーツ少年団の数は９０団とお聞きしました。申請件数は平均すると大体１団１申請ということになるんでしょうが、実際は１団で複数の申請をする団もあると思います。多い団の申請件数は、どれくらいになるものでしょうか。

スポーツ振興課長
全県大会への補助につきましては、１団で２大会までとしております。全国大会への補助につきましては無制限となっておりますが、予選がある大会とない大会では補助率が異なります。申請件数でありますが、個人種目を扱っている団が多くなる傾向にありまして、４件、５件となるところがあります。

風登委員
そうですか。ありがとうございました。

吉川教育長
ほかに、何か御質問ございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
皆様、よろしいでしょうか。それでは、本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
それでは、本案は、報告のとおり承認することとします。
次に、議案第３７号「平成２８年度大仙市学校給食事業特別会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。学校給食総合センター所長、報告をお願いいたします。

学校給食総合センター所長
資料は、２２ページからになります。議案第３７号「平成２８年度大仙市学校給食事業

特別会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。

資料の２４ページをお開き願います。補正する款項目は給食事業費で、補正前の額は９億１，３０１万１，０００円、補正額５００万円、計９億１，８０１万１，０００円となっております。

次に、資料の２５ページを御覧願います。補正の内容は、西部学校給食センターを除く四つの学校給食センターの施設、設備の修繕料です。現在、各給食センターにおいて修繕を要する箇所については、応急処置をしているところです。給食に支障が来さないよう冬休み期間中に本格的な修繕を行いたいと考えております。

以上、御説明申し上げましたが、よろしく御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願いいたします。

吉川教育長

ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。

伊藤委員

西部学校給食センターについては、新しいから修繕はないということでしょうか。

学校給食総合センター所長

西部は，昨年オープンしたばかりですので、ございません。その他のセンターにつきましては、建築から９年ないし１７年、経過しておりますので、様々な修繕が発生しております。

吉川教育長

ほかに、ございませんでしょうか。

風登委員

細かいことですみません。修繕の見込額がセンターごとに１００万円、２００万円というふうに四つのセンターの合計で５００万円となっていて、きれいに１００万円単位になっているんですが、業者からの見積りでこうなっているものでしょうか。

学校給食総合センター所長

業者からの見積りというよりは、これまでの冬場の実績を勘案して補正額を出しております。仮に現状で修繕料を算出しても、冬場に予想外の修繕箇所が発生しますので、こうした事態に対応するためにもやや多めに概算で算出しております。

吉川教育長

もう少し、各修繕料の額の根拠を示す必要があるように思います。議会への説明もありますので、準備をよろしくお願いします。

学校給食総合センター所長
　分かりました。

吉川教育長
　ほかに、ございませんか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。それでは、本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　それでは、本案は、報告のとおり承認することとします。
　次に、議案第３８号「平成２８年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について」を議題といたします。スポーツ振興課長、報告をお願いいたします。

スポーツ振興課長
　それでは、資料は２６ページから２９ページになります。議案第３８号「平成２８年度大仙市スキー場事業特別会計補正予算（第２号）案に関する臨時代理について」、御報告申し上げます。臨時代理として事務処理した理由については、前の議案と同様です。
　資料の２９ページを御覧願います。
　これは、市内３スキー場の今シーズン中における設備、機器等の修繕料として２００万円の補正をお願いするものであります。財源は、全て一般財源となっております。
　事業の目的と目標ですが、地域が持つ豊かな資源と、自然環境を生かしつつ、地域経済の活性化や、冬季スポーツの充実と市民の健康増進に資するなど、誰もが継続的に楽しめる生涯スポーツの場とすることを目的としております。
　次に、これまでの実績と成果ですが、各スキー場の入込客数の推移を表にしております。３スキー場につきましては、指定管理者制度を導入した平成２３年度から、ほぼ横ばいから若干右肩上がりに推移しておりましたが、２７年度シーズンは暖冬による積雪不足から、年末年始を絡めた営業日数不足となり、異常気象による利用者の減少となっております。
　今年の冬は、積雪量が確保できそうな情報もあることから、再び利用者の増加が見込めるものと期待しているところであります。
　次に問題と課題ですが、今年度においては、協和スキー場で４月に発生した強風被害による圧雪車車庫の破損や、シーズン前の点検において、圧雪車のキャタピラを繋ぎ合わせているゴムベルトの亀裂や破損、また、噴射ポンプやラジエーターの不具合が発覚したため、当初予算で計上しておりました予備費で対応しております。そのため、今シーズン中

における予期しない故障などに迅速に対応するための費用が不足すると見込まれることから、今回の補正をお願いするものであります。
　次に、今後の方向性と事業概要の欄には、過去３年間におけるシーズン中に突発的に発生した修繕費等の推移を表にしております。これを算定根拠として２００万円の補正を計上させていただきました。
　今後も、常に安全・安心を最優先に考え、事故や災害等の緊急事態が発生した場合には、適切かつ迅速な対応ができる体制を整備し、更なる施設の利用促進を図ってまいります。
　以上、御報告いたしましたが、御審議の上、御承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

吉川教育長
　ただいまの報告について、委員の皆様から御質問等ございませんでしょうか。
　過去３年間の実績を見ますと、年々上がって昨年は２４７万円となっています。果たして２００万円で足りるのかという心配もありますが、その辺のところをスポーツ振興課長、２００万円の根拠について、もう少し説明願いますか。

スポーツ振興課長
　今年はシーズン前の点検で大分修繕を行いましたので、冬場の故障箇所は例年に比べ少なくなるものと見込んでおります。何とか、２００万円以内で抑えたいと考えております。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

竹原委員
　圧雪車のゴムベルトや圧雪車ってどれくらいするものでしょうか。

スポーツ振興課長
　圧雪車そのものを購入するとすれば、３，０００万から４，０００万くらいかと思います。ゴムベルトは圧雪車の片側に６本ずつありますが、１本数十万円します。スキー場の施設・設備の中ではリフトと圧雪車が大きなウェイトを占めておりまして、これらが故障すると百万円単位の修繕が発生することになります。

竹原委員
　分かりました。

吉川教育長
　ほかに、ございませんでしょうか。

各委員（なし）

吉川教育長
　皆様、よろしいでしょうか。それでは、本案を報告どおり承認することに御異議ございませんか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　それでは、本案は、報告のとおり承認することとします。以上で、付議案件の審議を終わります。
　次に、次第の５番その他に入らせていただきます。皆様、何かございましたら、お願いいたします。

風登委員
　先日の魁新報に、学校図書に関する記事がありました。県内の公立小･中学校は学校司書が６０パーセントの割合で置かれているという内容だったんですが、本市の状況はどうなっているものでしょうか。

吉川教育長
　結論から言うとゼロです。本市の小･中学校に学校司書はいません。その代わり、読書支援サポーターとして３人に委嘱して学校を巡回していただいております。このことについて、総合図書館長から説明をお願いします。

総合図書館長
　市では読書支援サポーターということで、大曲地域、東部地域、西部地域に１人ずつ配置しています。年間を通して学校を巡回して図書室の環境整備や読み聞かせを行っております。

教育指導部長
　このほか、司書教諭という形での発令があります。

風登委員
　そうですよね。そういう形で対応していますよね。新聞記事にあった本県の割合が６０パーセントというのを見て、本当にそんなに置いているのかなと半信半疑でした。記者は当然、裏付けをとって記事にしていると思いますが、本当にそうなんでしょうか。

吉川教育長
　確認してみないと分かりませんが、司書教諭を含めると大体６割くらいだと思います。

風登委員
　つまり、学校の先生方が資格を取ってそのぐらいの割合になるということですよね。そ

うであれば納得できます。
　総合図書館長、サポーター３人ということですが、人数的には妥当なところですか。

総合図書館長
　学校からはもっと増やしてほしいという要望はあります。今年も１人お辞めになる方がいて募集したんですが、応募者が少なく補充がやっとという現実があります。

風登委員
　当面、３人体制で取り組んでいくということですね。ありがとうございました。

吉川教育長
　本当は足りないんですよ。この３人だけで昨年の巡回数は、１，３００回を数えます。フル回転です。それでも、もうちょっと来てくれないかという要望があります。学校司書の免許のある方を配置できれば理想的なんでしょうけれども、今後、小学校には英語も入ってきますし、人件費を必要とするものが多くて一気には難しい状況があります。何とか、現状で頑張っていただきたいと思っております。

風登委員
　ありがとうございました。

吉川教育長
　ほかにございませんか。

（なし）

吉川教育長
　なければ、教育総務課長から次回の日程についてお願いします。

教育総務課長
　１２月の定例会の日程についてです。１２月２２日木曜日の午後４時から、ここで開催したいと考えております。

吉川教育長
　次回の定例会は、１２月２２日木曜日の午後４時からということで、皆様いかがでしょうか。

各委員（異議なし）

吉川教育長
　では、次回の定例会は、そのようにさせていただきます。

本日の日程は、全て終了いたしました。以上で、定例会を閉じさせていただきます。
ありがとうございました。